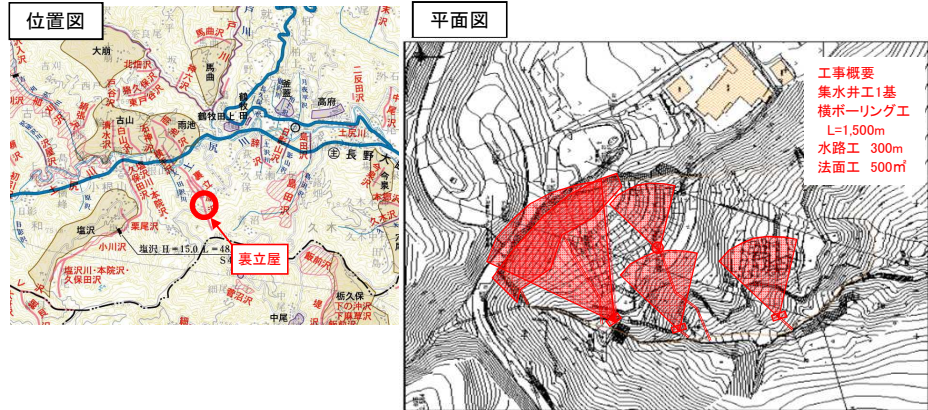


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		地すべり対策事業		路河川名等	(地)裏立屋						
事業毎の通番		1	市町村名	小川村	箇所名(ふりがな)	裏立屋(うらたてや)					
事業概要	事業目的	裏立屋地すべり地区は、平成28年の台風16号及び秋雨前線に伴う降雨により、村道肩を頭部、溪流(裏立屋沢)を末端とする、幅約60m、長さ約110m、層厚15～18mの地すべりが発生し、村道16号線が約30m区間で被災した。現在は全面通行止の措置を取っており、今後は災害復旧事業を村で実施予定であるが、このまま放置すれば変状がさらに拡大し周辺人家や道路等への被害、人家の孤立が懸念される。地すべり対策工を行うことにより人家1戸、孤立の恐れのある人家3戸、村道等を保全する。									
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(地すべり災害を防ぐ施設の整備)	事業実施の根拠法令等	地すべり等防止法							
	関連する事業、計画等	なし									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象人家1戸、村道30m									
	着手年度	平成29年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)					
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.2	国庫	その他 県債 一般財源					
	全体事業内容(主な工種)	集水井工 N=1基、横ボーリング工 L=1,500m 法面工 A=500m ² 、水路工 L=300m		120,000	60,000	54,000 6,000					
	年度事業内容(主な工種)	地すべり調査、解析 一式 横ボーリング工 L=700m、水路工 L=50m		50,000	25,000	22,500 2,500					
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家、生活道路等の保全								
		間接的効果(定量的・定性的)	災害に強い地域づくり								
評価の視点	必要性	人家戸数:	保全対象人家1戸	公共施設数:	村道	災害時要援護者関連施設の有無:	なし	河川への土砂流量:	66,000m ³	評価	C
	重要性	過去の災害履歴:	平成28年9月22日 台風16号及び秋雨前線に伴う降雨により地すべりが発生	交通遮断による地域経済への影響:	迂回路がなく村道が遮断されると孤立世帯が3戸発生する	地域防災計画上の位置づけ:	小川村地域防災計画に記載がある	評価	A		
	効率性	費用便益比(B/C):	B/C=1.15	事業期間:	平成29～32年度(4年間)	工法等の比較検討:	調査、解析を行い工法を比較検討する	評価	B		
	緊急性	地すべり滑動度:	顕著な動きがある	地すべり変状:	H28台風16号により地すべりが発生した	下流の堰堤等の整備状況:	砂防堰堤が2基整備済みだが、概ね満砂状態である	評価	A		
	計画熟度	事業情報の共有:	関係者に対し事業説明会を実施し周知している	地域の取り組み:	小川村から対策要望があり協力的である	地域の合意形成:	対策工法について解析検討中のため合意形成は今後住民との協働:	連絡網等の防災体制あり	評価	B	
	部意見	台風16号及び秋雨前線に伴う降雨により発生した地すべりが今後の融雪や降雨等により拡大する恐れがある。人家3軒が孤立の恐れがあり、緊急に整備する必要がある。	行政改革課意見	今後の降雨等により地すべり活動が活発化する恐れがあり、保全対象に人家、村道があることから、重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	総合評価	O	B			

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	基盤地質は新生代第三紀中新世に堆積した小川層論地泥岩部層で、地すべりが多発している地質である。古い地すべり地形も明瞭に認められ、地すべりによって形成された斜面は耕作地となっている。平成20年には融雪により人家の庭先等に亀裂が生じ、次第に地すべり活動が顕著となった。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成28年9月21日に地元役員を通じ、小川村から地すべり変状発生への報告が出されている。
③事業説明等の経緯	平成28年9月23日に土尻川砂防事務所が現地調査を実施し、24日にコンサルタントが緊急調査を実施した。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	地すべり対策工法について、村道災害復旧事業との調整・整合を図る。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	横ボーリング孔口等、地表に露出するものはふとん管など自然の資材を用いたもので施工し、環境や景観に馴染むよう配慮する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により地すべり災害の防止が図られ、災害に強い地域づくりが推進される。
⑦その他	なし
事業代表地点の緯度経度	北緯:N 137° 57' 38" 東経:E 36° 36' 30"